

# 体験型学習で賢い消費者を育てる! 埼玉県生活科学センター(彩の国くらしプラザ)の 取組について



# 体験型学習で賢い消費者を育てる! 埼玉県生活科学センター (彩の国くらしプラザ)の取組について

埼玉県生活科学センター(彩の国くらしプラザ) 館長 堀越隆幸

埼玉県生活科学センター 彩の国くらしプラザ

URL:<https://www.kurashi-plaza.jp/>

埼玉県生活科学センター(彩の国くらしプラザ)は、参加体験型の展示や「くらしーシアター」などを通じて、子どもから大人まで楽しみながら消費生活を学べるユニークな施設です。社会科見学での利用も多く、消費者教育の体験や知識を深める場として、県内外から多くの人を訪れます。また、ワークショップやイベントも定期的に行われ、地域の消費者教育の充実に取り組んでいます。埼玉県生活科学センター(彩の国くらしプラザ)の取組について、館長の堀越隆幸氏にお話を伺いました。

## 自立した消費者となるための知識や知恵を学べる 体験型消費者教育施設

### ——埼玉県生活科学センター(彩の国くらしプラザ)の紹介をお願いします。

埼玉県生活科学センター(以下当施設)は、「彩の国くらしプラザ」の愛称で知られる入場無料の公的施設です。当施設の特徴は、「触れてみよう☆試してみよう☆参加しよう」をキーワードとした、参加体験型の展示が充実していることです。全国的に見ても唯一無二の規模感を誇る大型消費者教育施設として、小学校の社会科見学等で訪れる先生方からも評価をいただいています。

当施設には、展示ゾーンの他に消費生活に関する図書やDVDなどの資料を閲覧できるライブラリー(くらしーライブラリー)も設けられており、大人から子どもまで、楽しみながら消費生活について学べます。

### ——来場者の年齢層を教えてください。

幅広い世代の方々に親しまれていると思います。平日は小学校の社会科見学等で多くの児童が訪問し、休日は未就学のお子様や小学生とその親御さんを中心としたファミリー層、そしてアクティブなシニア世代の方々など様々な世代の皆様が来場して下さいます。以前、社会科見学で来てくれた児童が「楽しかったのでまた来ました」と、今度はご家族で訪れてくださると、スタッフ一同大変嬉しく思います。

### ——設備や展示の内容について教えてください。

自立した消費者となるための知識や知恵を、楽しく学べる設備が多数ございますが、目玉となるのが当施設のキャラクター「くらしー」が登場する「くらしーシアター」です。映像やクイズを交えながら、暮らしの中の身近な問題について、くらしーとプレイリーダーと呼ばれるスタッフが、来場者と対話をしながら展開します。

「くらしースクール」という参加体験ゾーンには、金銭教育や悪質商法被害防止をテーマにした9つのブースがあり、ゲーム感覚で楽しみながら、消費生活に関する知識や関心を深めることができます。

#### 設備・展示の紹介

#### ・くらしーシアター



「くらしーシアター」では、SDGsやネットトラブル、食育といったテーマを学べる30分程度のプログラムを1日3回(平日は11時、13時、14時30分から、休日は13時、14時30分、16時から)実施している。映像を見るだけでなく、座席にあるボタンを押してクイズに答え、くらしーとの対話を楽しみながら進んでいくため、子どもたちは飽きることなくプログラムに集中していた。



## ・くらっしースクール(参加体験ゾーン)



### ① 上手におつかいできるかな？

親から頼まれた食材を買いに行くブース。買い物ができる3店舗には、肉が安い店、野菜が安い店などそれぞれに特徴がある。安く良いものをどこで買うことができるか考えながら買い物することで、必要なものを安く賢く買う知恵を身につけることができる。

### ② みんなの街でハウマッチ

売っているモノやサービスの値段を当てるクイズブース。世の中の常識的な値段感覚や値付けのカラクリを学び、賢く買い物をすることができる知恵を身につけることができる。

### ③ ピンポーン！きみならどうする？

訪問販売員による悪質商法を体験できるブース。玄関を舞台に販売員があの手この手で勧誘してくる手口を体験し、対応方法を学ぶことができる。

### ④ ことわれるかな？おうちの電話編/ケータイ電話編

固定電話や携帯電話を使った悪質商法を体験するブース。架空・不当請求の典型的な手口について、学ぶことができ、はっきりと断る練習も行える。

### ⑤ ふみふみ計算 ドン！

床に設置された計算機パネルを踏んで計算問題を解いていくブース。ゲームコースには、素早く計算問題を解くものと、じっくり考えて文章問題を解くものの2つがある。

### ⑥ 転がせ！ジンセイボール

テーブルを傾けてボールを転がし、悪質商法の落とし穴を避けながらプレゼントを拾っていくゲームを行えるブース。ゲーム終了時に、はまってしまった悪質商法について説明を聞くことができる。

### ⑦ 重いぞ お金 ヨッコイショ

お金の大きさや重さを体感できるブース。リアルなお金の重さを体感することで、働いて得るお金の重みや大切さについて考えることができる。

### ⑧ ウォーキングショッピング

足踏みでお金を貯めて買い物をするゲームを行えるブース。ゲームを通じて、自分で稼ぎ、使い、必要に応じて借りる体験を通して、金銭に関するバランス感覚を養うことができる。

### ⑨ 自立度チェック

消費者としての自立度合いをチェックするクイズブース。小学生編、中高生編、大人編から選ぶことができ、自立した消費者になるための「気づき」の機会を提供している。

## ——社会科見学等で施設を訪れる学校が多いとのことですが、訪問する学校数や訪問理由を教えてください。

令和5年度は約150の小学校、合計12,000人以上の児童が社会科見学に訪れました。その他、保育園や幼稚園、放課後デイサービスの児童、シニアの団体、介護福祉事務所等も合計すると、約500団体、合計16,000人以上の方が当施設を訪問しています。

訪問する目的の一番はやはり消費生活の体験や知識を深めるために、当施設を社会科見学の場所として選んでいただいています。最近では、県内の学校だけでなく、東京都や千葉県の子供もバスで来館されます。

当施設は、SKIPシティという行政施設と映像産業拠点施設が集まった地域にあり、周りには川口市立科学館や映像ミュージアム、埼玉県とNHKが運営している公開ライブラリーといった施設が隣接しています。当施設を訪問後、それらの施設もあわせて回ることによって、効率よく社会科見学が行えると学校の先生からも非常に重宝されています。

社会科見学等の相談は、電話で受け付けています。学校の要望や日程の相談に乗りながら、調整させていただき、他、当施設を訪れた後、他施設も訪問したいといった要望もお聞きして、コーディネートすることもできるので、ぜひご連絡をいただければと思います。

### 活用事例 社会科見学引率で訪れていた公立学校の教諭に取材しました。

## ——埼玉県生活科学センター(彩の国くらしプラザ)を訪問した理由を教えてください。

小学校5年生の社会科見学と3学期に家庭科で学習する「生活を支える物やお金」の授業の一環を兼ねて訪問しました。

## ——施設の感想を教えてください。

施設見学を通じて、児童はお金で生活を支える上で欠かせないものであり、同時に限りがあるものだと認識を深めたようです。「くらしスクール(参加体験ゾーン)」の、「ウォーキングショッピング」が特に楽しかったようで、一生懸命考えながら体を動かしていました。どのブースも、子どもたちが自ら考えたり、体を動かしたりしながら学べる工夫が凝らされており、非常に良いと感じました。訪問販売やインターネット詐欺といったトラブルを疑似体験できるブースでは、相手の要求への対応の仕方でのどのような状況になってしまうのか疑似体験できるため、児童もよく理解できたと思います。

今回の社会科見学で学んだ、将来を見据えた計画的なお金の使い方や、お金を騙し取る悪い人がいること、そして時には毅然と断る大切さを、今後の生活に活かしてくれることを願っています。



「ウォーキングショッピング(写真左)」と「ピンポン! きみならどうする?(写真右)」を体験する児童たち。「ピンポン! きみならどうする?」では、友達と話し合いながら、悪質な訪問販売員の勧誘を断る練習をしていた。

## 大人も子どもも楽しめる 魅力的な催しを開催中

### ——今、特に力を入れている取組はありますか？

「くらしーシアター」を通じた情報発信に力を入れており、既存のテーマに加え以下の3つのテーマに関するプログラムを作成し、提供しています。

#### ① ネットリテラシー

スマートフォンが普及し、ネットトラブルが増加している現状を踏まえ、子どもたちが自らの身を守るための知識や判断力を養うことを目指しています。様々な事例を通して、ネット利用におけるリスクや注意点を理解し、安全な利用を促す内容となっています。

#### ② SDGs(持続可能な開発目標)

特に「つくる責任、つかう責任」に焦点を当て、消費者としての責任を学ぶプログラムを提供しています。エネルギー消費を抑える工夫やレジ袋削減など、具体的な行動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献できることを理解してもらうことを目指しています。

#### ③ 食育

未就学児を対象に、食への関心を高める取組を行っています。例えば、人参を題材に、農家の方々が丹精込めて育て、市場やスーパーを経て食卓に届くまでの過程を伝えることで、食べ物への感謝の気持ちを育み、苦手な食材にも挑戦するきっかけ作りになればと考えています。

これらのプログラムを令和5年度の春に追加し、現在はこの3つを中心に上映しています。また、この他にも16個のプログラムを用意しています。

### ——市民(団体以外の個人の方)が参加できるワークショップや講座、イベントはありますか？

当施設では、市民の皆様を対象としたワークショップや講座を定期的を開催しています。最新のものと、2025年3月に、中高年向けの講座として「中高年のための失敗しない住宅リフォーム講座」を実施しました。

子ども向けのイベントとしては、料理教室や工作教室をはじめとした、消費生活の様々なテーマを取り上げたイベントを年間10本程度開催しています。

また、現在構想段階ではありますが、親子で年金について学べる講座も企画しており、幅広い世代の方々にとって有益な情報を提供できるよう、今後具体化を進めていく予定です。



行ったワークショップや講座はウェブサイトにある「くらしーの写真日記」で公開されている。

くらしーの写真日記

URL:<https://www.kurashi-plaza.jp/blog>



## ——人気のイベントや反響の大きかった催しについて教えてください。

多くの方に来場していただいたイベントとして3つ紹介します。

### ・魅力いっぱい☆彩の国(埼玉県民の日関連イベント)

埼玉県民の日(11月14日)近辺の週末を利用して開催する、埼玉県の情報発信イベントです。2024年度は、新1万円札となった渋沢栄一の紹介や埼玉県の農産物、伝統工芸、観光名所など、県民の関心の高いテーマを取り上げました。

### ・くらっしーマーケット(夏休み恒例イベント)

イベントスペースをスーパーマーケットとホームセンターに見立て、実物そっくりの商品が棚いっぱいに並び、子どもたちがテーマに合わせてお買い物体験を楽しむイベントです。このイベントでは、予算内で買い物をする難しさや楽しさを体験でき、保護者からは「子どもたちが買い物を体験できる貴重な機会」として好評を得ています。

### ・くらっしーまつり(毎年11月後半開催)

輪投げや玉入れなどのゲームや、綿菓子作りなどの体験ができるお祭りイベントです。参加者はポイント(12くらっしー)をやりくりしながら、ゲームや食べ物を楽しむことができ、お小遣いの使い方を学ぶ機会にもなっています。2024年は、11月30日、12月1日に行い、2日間で7,500人もの方にお越しいただきました。

## 自立した消費者を育てる 未来のための消費者教育

## ——今後の活動展望を教えてください。

時代に合った消費者教育を学べるプログラムや展示を作成し、提供していきたいと考えています。

特に、情報化社会が進む現代においては、子どもたちが幼い頃から様々な情報に触れる機会が増え、その結果、トラブルに巻き込まれるリスクも高まっています。こうしたトラブルを避けるために、子どもたちが自ら判断し、正しい選択ができる力を育むための知識や経験を提供したいと思います。

さらに、新たな消費者教育の題材として、お金に関する知識や判断力を養うマネーリテラシー教育や、契約の理解を深めるプログラムや展示を企画しています。これらの取組を通じて、消費者が日々の生活の中でより賢明な判断ができるよう支援していきたいと考えています。

## ——消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんにメッセージをお願いします。

当施設では皆様が安心・安全で豊かな消費生活を送るためのお手伝いをしています。そしてより良い消費生活を実現できるよう、様々な情報提供や相談なども行っています。

自立した消費者を育てるために、ぜひ当施設をご活用いただければと思います。体験学習を通して得た知識は、きっと子どもたちの将来に役立つはずです。

## ——ありがとうございました。

埼玉県生活科学センター(彩の国くらしプラザ)

【所在地】

〒333-0844

川口市上青木3丁目12番18号 SKIPシティ A1街区 2階

【開館時間】

9:30 ~ 17:00(研修室は21:00)

【休館日】

毎週月曜日(月曜日が国民の祝日などの場合は翌平日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)

【問い合わせ先】

電話:048-261-0993

FAX:048-261-0997